

# C Channel

## 2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年8月9日

上場会社名 C Channel 株式会社 上場取引所 東  
コード番号 7691 URL https://corp.cchan.tv/  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 森川 亮  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 東 貴志 TEL 03 (6453) 6893  
四半期発行情報提出予定日 2023年8月9日 配当支払開始予定日 -  
四半期決算補足説明資料作成の有無: 無  
四半期決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第1四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	1,589	1.5	△33	-	△34	-	△46	-
2023年3月期第1四半期	1,565	1.1	△18	-	△20	-	△29	-

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 △46百万円 (-%) 2023年3月期第1四半期 △29百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	△1.62	-
2023年3月期第1四半期	△1.03	-

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	2,532	295	9.4
2023年3月期	2,517	344	11.5

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 237百万円 2023年3月期 290百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	-	0.00	-	0.00	0.00
2024年3月期	-	-	-	-	-
2024年3月期(予想)	-	-	-	-	-

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

### 3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,425	3.0	△42	-	△54	-	△70	-	△2.42

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(注) 詳細は、添付資料P. 6「1. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期1Q	28,722,000株	2023年3月期	28,722,000株
② 期末自己株式数	2024年3月期1Q	—株	2023年3月期	—株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期1Q	28,722,000株	2023年3月期1Q	28,722,000株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる場合があります。

## ○添付資料の目次

1. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	2
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	2
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	4
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	4
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6
(重要な後発事象) .....	6
2. その他 .....	7
継続企業の前提に関する重要事象等 .....	7

## 1. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	567,880	744,230
受取手形	9,201	2,695
売掛金	617,756	507,216
商品及び製品	936,713	903,818
仕掛品	1,159	1,438
貯蔵品	13,949	16,802
その他	126,458	113,590
貸倒引当金	△6,919	△6,898
流動資産合計	2,266,200	2,282,894
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	47,868	46,531
工具、器具及び備品(純額)	4,883	4,662
有形固定資産合計	52,751	51,193
無形固定資産		
その他	77,240	80,567
無形固定資産合計	77,240	80,567
投資その他の資産		
繰延税金資産	13,113	5,358
その他	108,215	112,844
投資その他の資産合計	121,329	118,203
固定資産合計	251,321	249,964
資産合計	2,517,522	2,532,858

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	325,514	302,507
短期借入金	50,000	50,000
1年内返済予定の長期借入金	178,764	174,444
未払金	245,706	284,244
未払法人税等	3,584	944
賞与引当金	21,380	5,240
ポイント引当金	7,209	7,257
その他	38,939	64,382
流動負債合計	871,098	889,020
固定負債		
社債	—	48,000
長期借入金	1,255,345	1,252,934
資産除去債務	28,010	28,040
繰延税金負債	5,938	5,833
その他	13,061	13,228
固定負債合計	1,302,355	1,348,036
負債合計	2,173,453	2,237,057
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	10,000	10,000
資本剰余金	1,802,851	1,802,851
利益剰余金	△1,519,173	△1,565,842
株主資本合計	293,678	247,009
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△3,514	△9,543
その他の包括利益累計額合計	△3,514	△9,543
新株予約権	13,000	11,250
非支配株主持分	40,904	47,084
純資産合計	344,068	295,801
負債純資産合計	2,517,522	2,532,858

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	1,565,529	1,589,420
売上原価	710,641	739,662
売上総利益	854,888	849,757
販売費及び一般管理費	872,957	882,828
営業損失(△)	△18,068	△33,071
営業外収益		
受取利息	23	44
受取配当金	—	2
業務受託料	5,454	—
助成金収入	1,500	—
為替差益	5,010	5,168
その他	1,296	1,173
営業外収益合計	13,285	6,387
営業外費用		
支払利息	2,298	3,732
持分法による投資損失	13,464	—
支払手数料	—	3,991
その他	5	22
営業外費用合計	15,769	7,746
経常損失(△)	△20,552	△34,430
特別利益		
新株予約権戻入益	—	1,750
特別利益合計	—	1,750
税金等調整前四半期純損失(△)	△20,552	△32,680
法人税、住民税及び事業税	817	157
法人税等調整額	6,673	7,650
法人税等合計	7,490	7,808
四半期純損失(△)	△28,043	△40,488
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,656	6,180
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△29,699	△46,668

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純損失(△)	△28,043	△40,488
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△1,039	△6,028
その他の包括利益合計	△1,039	△6,028
四半期包括利益	△29,083	△46,517
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△30,739	△52,697
非支配株主に係る四半期包括利益	1,656	6,180

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（重要な後発事象）

該当事項はありません。



## 2. その他

### 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、各連結会計年度において営業損失、経常損失、親会社株主に帰属する当期純損失、マイナスの営業キャッシュ・フローを計上しております。

当第1四半期連結累計期間におきましても、営業損失及び経常損失、親会社株主に帰属する四半期純損失を計上しており、現時点においては継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在しております。

それに対し、当社グループは当該状況を解消すべく、以下に示す課題への対処を的確に行うことにより安定的な財務基盤を確立し、当該事象が早期に解消されるよう取り組んでまいります。

これらの改善策を状況に応じて適切に推進していくことから、継続企業の前提に重要な不確実性は認められないと判断しております。

#### ① 基盤収益事業の強化による売上維持・拡大

##### <メディア事業>

『広告サービス』『インフルエンサーマーケティングサービス』において、売上高は安定的に推移しており、当第1四半期連結累計期間の売上高に占める構成が18.4%となっております。そのため、当社グループは、当該事業をさらに強化していくことで、安定した収益獲得を目指してまいります。

具体的には、C Channelグループは、これまで得意としてきた動画メディアからSNS並びにインフルエンサー等を活用した女性向けマーケティング、更にクライアントの皆様にとってインフルエンサーマーケティングのソリューションとなる「Lemon Square」を中核事業に据え、新たな時代におけるトッププラットフォームを目指しております。また美容クライアントに集中することで、美容領域の主要クライアントにおける受注金額と受注単価が昨年対比で約40%成長しております。

##### <eコマース事業>

eコマース事業は、現在20代～30代の女性を中心に全国100万人の会員数を誇りアパレルECや韓国コスメECなど堅調に成長しております。当第1四半期連結累計期間の売上高に占める構成が71.0%と当社グループの安定的な収益の基盤となっております。新型コロナウイルスの影響から回復し、昨年対比プラス成長し黒字転換しております。

##### <海外事業>

海外事業は、当第1四半期連結累計期間の売上高に占める構成が10.6%となっております。中国における越境EC及びSNSマーケティングの運営等の強化、インドネシアにおけるインフルエンサー広告の拡大に注力してまいります。

#### ② 積極的投資事業における選択と集中による事業の選別と早期収益化の実現

積極的投資事業については、当社グループとのシナジーが期待できない事業や収益化が困難と判断した事業については適時適切に処分することを検討してまいります。また、早期収益化の実現のため、当社グループの事業とシナジーのある他社と積極的に業務提携を締結すること等を通じて、事業の拡大を図ってまいります。

#### ③ 資金調達や資金繰りの安定化

当社グループは、当面の事業を継続するための資金繰りに支障はないと判断しております。引き続き効率的なコスト削減に取り組み、事業及び運転資金の安定的な確保のため、取引金融機関等との良好な関係を維持し、財政状態の健全化を図ってまいります。

#### ④ 経費の削減

当社グループは、当社グループ事業の強みを確保した上で、引き続き、外注費等の売上原価、販売費及び一般管理費の固定費などの削減に努め収益性の改善に注力してまいります。